

ふれあい 第136号

発行:平成30年3月20日



東自治振興区だより

●発行／庄原市東自治振興区 ●編集／東自治振興区編集委員会 TEL 0824-72-2854
●【ホームページ】<http://higashijichi.web.fc2.com/> ●印刷／平和印刷株



地域発見！講演会

—先人の偉大な歴史の上に今を生きる私たち—



2月25日、穏やかな薄曇りの天候に助けられ80名を超える参加の元、社会福祉部と女性部の共催による教育講演会を行いました。外では暖をとるためにたき火をし、火を囲んだ和やかな談義で来場者を迎えるました。

講演は、東小学校の稻作体験の意味や意義について、東泰治区長の話題提供に始まりました。講師に庄原市教育委員会生涯学習課文化財係主任 稲村秀介さんを迎え、パワーポイント画面で小学生に語りかけながらの話に、あつという間の一時間が過ぎました。

今ある自分は、地球や宇宙の歴史の中で、とてつもない時間と空間を経て命がリレーされた存在であると話され、自分がとても大切に思える感動に包まれました。

また、国兼池は、あらゆる方法を組み合わせ、300年もの年月をかけてつくられた関西一の溜池

であり、和牛のふるさとともに言える七塚原牧場は日本で最初にできた牧場で、農耕牛の品種改良の拠点であった等の話に、先人の知恵と技術、そして偉大な経験の上に今があることをとても誇らしく思いました。

午後からは、鯉こくやせんざいに舌鼓しながら、備北公園管理センター提供の「わらトンボ」づくりにチャレンジする子どもたち。「背負子」「みの」「むしろ」「ぞうりやわらじ」を見学しながら昔話に花が咲きました。女性部手作りの五色もちやこんにゃくも家族へのお土産として完売し話題を広げました。

地域のことをもっと知りたい！もっと伝えよう！を合言葉に語り継ぎ、探索する意味や意義に火がついた講演会でした。

(社会福祉部・女性部)



味噌作り

—女性部—



2月16日、今年も恒例の味噌作りをおこないました。皆さんもすっかり慣れた手つきで、36樽の味噌の仕込みが午前中に手際よく終わりました。

一度食べたら忘れられないと、倍麹で作られる人、健康志向で減塩にされる人と、自分流の味になってきました。やはり自分で作った味噌は本当に美味しいので樽開けするのがとても楽しみです。

産業振興部で作られた大豆も活用されました。今年は男性の方も加わってモテモテでしたよ。来年はもっと男性が増えればいいなと思っています。

開催のお知らせ

東地区ふれあいウォーキング

—東地区体育協会—

〈日 時〉 平成30年4月8日(日)
午前9時30分～(雨天中止)

〈集合場所〉 東自治振興センター

〈目的 地〉 国営備北丘陵公園

〈申込み〉 当日受付に申込んで下さい。



おくりもの

見舞い返し

上原町 廣光 敏則様

上原町 金谷 幹雄様

掛田町 谷口トキコ様

香典返し

上原町 八野 孝文様(故母 文子様)

上原町 金谷 幹雄様(故母 イサコ様)

篤志寄付

1件

ご芳志ありがとうございました。東自治振興区の活動資金として活用させていただきます。

編集後記

今年の冬はこのほど冷え込みが厳しく、各地では近年にない大雪となり、加えてインフルエンザが大流行しました。

今月は卒業式、年度末に係るあらゆる締め等で多忙となります。

待っていた春はそこまで来ています。

新春囲碁大会成績

—囲碁同好会—

2月14日、第20回新春囲碁大会を参加者9名で開催しました。結果は次のとおりでした。

- | | | |
|----|----|----|
| 1位 | 石川 | 恵 |
| 2位 | 宅川 | 昭典 |
| 3位 | 大原 | 重身 |



ふだんはどんなに頑強なひとでも、病気になつては何もできない。病気になつてしまつては、しようと思うこともできない。淨瑠璃の「賀古教信七墓廻」に「義理も仁義も腕立も、病には勝たれぬかや、残念なり」とある。

『病には勝てぬ』

「医」と「健康」に
関することわざ



振興区のうごき

3月29日 総務部会

4月 4日 役員会

4月 6日 編集委員会

4月22日 通常総会

東地区の人の動き

(H30.1.31)

【住民基本台帳登載人口】

前月比

人口 3,797 +3

男 1,836 +1

女 1,961 +2

世帯数 1,748 +5